

ワシントン大学 報告書

北海道教育大学旭川校

英語教育専攻

岡田 貴裕



私は2013年の春休みにアメリカのシアトルで3週間、自分の英語のスキルアップを目的にワシントン大学に通い、貴重な経験をしてきました。

私のクラスの授業内容は、主に映画、会話表現、英作文、プレゼンテーションなど、**listening, speaking, writing** をバランスよく学びました。映画では「Elf」というサンタクロースの手助けをする妖精がテーマのものを見ました。その映画の中で出てくる表現を映画を見る前に確認してから見るという学習をしていたので、字幕がなくても内容が理解できとても勉強になりました。会話表現では、身近なことを相手に伝える練習を先生や生徒同士で行いました。特に、声に出さないで、口の動きだけで相手に伝える練習はとても難しく、いかに正しい発音の仕方が大切なのか考えさせられました。英作文では、週に一回シアトルの生活で楽しかったことや驚いたこと、学んだことについて書き、それを先生に添削してもらうということをしました。このことを通して、**writing** での表現の仕方を学ぶことができました。プレゼンテーションでは、グループを作り、各グループでテーマを決め、

それに沿って、質問を考え実際にインタビューを行い、その結果を発表しました。私のグループは「食」について調べ、自分が思っていたことと違う答えが返ってきて驚いたり、授業で練習したコミュニケーションがどこまで通じるのか試せる良い機会でした。

初めは、ホームステイ先のお父さんに自分の英語が伝わらなく、うまく意思疎通ができなくて心が折れましたが、現地の方の発音やイントネーションを真似することで徐々に伝わるようになり、最後の方には笑いながら会話できるようになったので、少しは英語力が向上したのかなと思います。

大学に通う以外にも色々な場所に行きました。シアトルには、有名な観光名所がたくさんあり、その場所を訪れるときに利用する公共機関や買い物など、全ての時間が自分の英語力を磨くための絶好の機会でした。

今回の留学を通して、英語力はもちろん上達しましたし、自分の中での世界観も大きく変わりました。初めは、留学ということに対してものすごく不安でしたが、普段経験することができないたくさんのことを学んでくるのが出来ます。ぜひ、迷っている人は勇気を出して参加し、素晴らしい思い出を作してほしいと思います。

